

THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)

運用報告書 (全体版)

第1期 (決算日 2018年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、2018年1月31日に第1期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日:平成29年3月1日)	
運用方針	「THEO グロース・ファンド (世界の株式中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		騰落率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分	込 配 み 金			
(設定日)	円		円	%		百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	—	1
1期(2018年1月31日)	11,336		0	13.4	99.9	65

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		騰落率	投資信託 組入比率	託 券 率
(設定日)	円			%		%
2017年3月1日	10,000			—		—
3月末	9,883			△ 1.2		99.2
4月末	9,959			△ 0.4		99.7
5月末	9,987			△ 0.1		99.7
6月末	10,115			1.2		91.9
7月末	10,196			2.0		94.5
8月末	10,106			1.1		98.4
9月末	10,490			4.9		99.7
10月末	10,805			8.1		99.9
11月末	10,975			9.8		99.9
12月末	11,251			12.5		99.6
(期末)						
2018年1月31日	11,336			13.4		99.9

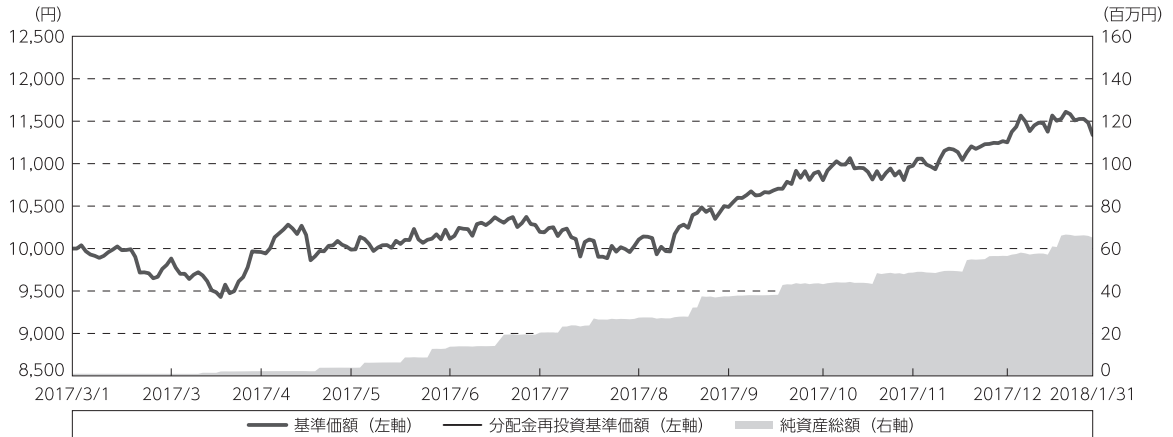
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2017年3月1日～2018年1月31日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,336円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 13.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、13.4%上昇しました。

組入れていたETFの全ての騰落率が、円高ではあったものの円ベースでプラスになったことが基準価額の上昇につながりました。

投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、23.5%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3－4月、市場の注目はフランス大統領選挙などに集まり、選挙結果に対する見方によって上下する局面もありましたが、結果的に株式市場は若干上昇しました。5－7月、米国の消費関連企業の好決算を受けて個人消費に対する期待感が高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長が「インフレ率が目標を下回り続けている状況下では金融政策の引き締めを急がない」と示唆したことなどを受け、株式市場は上昇しました。8－10月、株式市場は米国と北朝鮮を中心とした地政学的緊張を背景に揺れ動きましたが、結果的に深刻な事態には至らなかったことを好感したほか、米国の週間新規失業保険申請件数や製造業受注が市場予想を上回ったことなどを背景に、上昇しました。2017年11月－2018年1月、米国で法人税率と所得税率の引き下げを盛り込んだ税制改革法案が可決されることへの期待感が高まり、同国経済に対する楽観的な見方が広がったこと、さらに雇用統計や小売売上高といったマクロ経済指標が堅調であったことなどを受け、株式市場は特に1月は力強く上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2017年3月1日～ 2018年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,336

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長性を享受することを目指します。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年 3 月 1 日～2018年 1 月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	41	0.399	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(34)	(0.324)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.050)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.025)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.065	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(7)	(0.065)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	11	0.104	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(9)	(0.085)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.019)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	59	0.569	
期中の平均基準価額は、10,376円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	千口 57,344	千円 60,496	千口 153	千円 164

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	投資信託の当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）		57,190	65,140

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）	65,140	99.8
コール・ローン等、その他	126	0.2
投資信託財産総額	65,266	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）において、当期末における外貨建純資産（65,102千円）の投資信託財産総額（65,234千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	65,266,854
コール・ローン等	126,446
THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）（評価額）	65,140,408
(B) 負債	126,446
未払解約金	22,723
未払信託報酬	83,008
その他未払費用	20,715
(C) 純資産総額（A－B）	65,140,408
元本	57,461,436
次期繰越損益金	7,678,972
(D) 受益権総口数	57,461,436口
1万円当たり基準価額（C／D）	11,336円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は56,657,472円、期中一部解約元本額は196,036円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.1336円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	4,799,427
売買益	4,819,034
売買損	△ 19,607
(B) 信託報酬等	△ 127,875
(C) 当期損益金（A＋B）	4,671,552
(D) 追加信託差損益金 （売買損益相当額）	3,007,420 (3,007,420)
(E) 計（C＋D）	7,678,972
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金（E＋F）	7,678,972
追加信託差損益金 （配当等相当額）	3,007,420 (105,069)
（売買損益相当額）	(2,902,351)
分配準備積立金	4,671,552

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（542,047円）、費用控除後の有価証券等損益額（4,129,505円）、および信託約款に規定する収益調整金（3,007,420円）より分配対象収益は7,678,972円（1万円当たり1,336円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第1期（決算日 2018年1月31日）
（2017年3月1日～2018年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：平成29年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	1
1期(2018年1月31日)	11,390		13.9	99.9	65

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 組 入 比	純 資 産 額
		期 騰	中 率		
(設定日)	円		%	%	
2017年3月1日	10,000		—	—	—
3月末	9,887		△ 1.1	99.1	
4月末	9,967		△ 0.3	99.6	
5月末	10,000		0.0	99.6	
6月末	10,132		1.3	91.9	
7月末	10,217		2.2	94.5	
8月末	10,132		1.3	98.4	
9月末	10,521		5.2	99.7	
10月末	10,842		8.4	99.8	
11月末	11,018		10.2	99.8	
12月末	11,299		13.0	99.4	
(期 末)					
2018年1月31日	11,390		13.9	99.9	

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

(2017年3月1日～2018年1月31日)

期中の基準価額等の推移

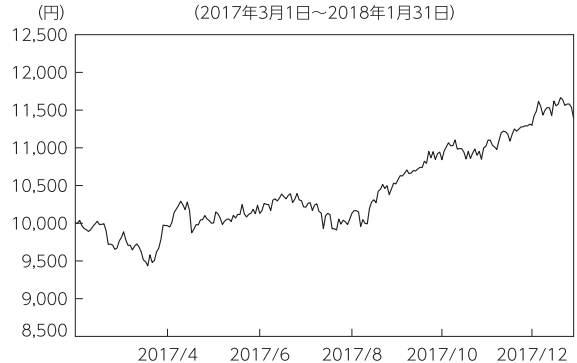
○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、13.9%上昇しました。

組入れていたETFの全ての騰落率が、円高ではあったものの円ベースでプラスになったことが基準価額の上昇につながりました。

【基準価額の推移】

(2017年3月1日～2018年1月31日)



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、23.5%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3－4月、市場の注目はフランス大統領選挙などに集まり、選挙結果に対する見方によって上下する局面もありましたが、結果的に株式市場は若干上昇しました。5－7月、米国の消費関連企業の好決算を受けて個人消費に対する期待感が高まったことや、米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長が「インフレ率が目標を下回り続けている状況下では金融政策の引き締めを急がない」と示唆したことなどを受け、株式市場は上昇しました。8－10月、株式市場は米国と北朝鮮を中心とした地政学的緊張を背景に揺れ動きましたが、結果的に深刻な事態には至らなかったことを好感したほか、米国の週間新規失業保険申請件数や製造業受注が市場予想を上回ったことなどを背景に、上昇しました。2017年11月－2018年1月、米国で法人税率と所得税率の引き下げを盛り込んだ税制改革法案が可決されることへの期待感が高まり、同国経済に対する楽観的な見方が広がったこと、さらに雇用統計や小売売上高といったマクロ経済指標が堅調であったことなどを受け、株式市場は特に1月は力強く上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.065 (0.065)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.067	
期中の平均基準価額は、10,401円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	ISHARES MSCI BRAZIL ETF	25	0.931	25	0.985
	ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	810	37	14	0.656
	ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	491	34	134	10
	ISHARES MSCI GERMANY ETF	767	23	767	25
	ISHARES MSCI MEXICO ETF	30	1	11	0.6
	ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	39	1	39	1
	ISHARES MSCI TAIWAN ETF	129	4	129	4
	ISHARES MSCI JAPAN ETF	1,185	69	21	1
	POWERSHARES QQQ TRUST SERIES	493	75	8	1
	VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	32	1	32	1
	VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	1,077	74	34	2
	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	6	0.339	6	0.349
	VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	955	101	95	10
	VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	797	97	177	21
	VANGUARD SMALL-CAP GRWTH ETF	6	0.889	6	0.931
	VANGUARD SMALL-CAP VALUE ETF	24	2	24	3
VANGUARD VALUE ETF	1,049	105	38	3	
小 計	7,915	635	1,560	91	

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA	796	39	4,282	6.6
ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF	357	27	3,016	4.6
ISHARES MSCI MEXICO ETF	19	1	108	0.2
ISHARES MSCI JAPAN ETF	1,164	73	8,015	12.3
POWERSHARES QQQ TRUST SERIES	485	81	8,901	13.7
VANGUARD FTSE PACIFIC ETF	1,043	79	8,674	13.3
VANGUARD MID-CAP VALUE ETF	860	99	10,830	16.6
VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF	620	82	9,029	13.9
VANGUARD VALUE ETF	1,011	112	12,240	18.8
合 計	6,355	598	65,099	
口数・金額	9	—	<99.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	65,099	99.8
コール・ローン等、その他	135	0.2
投資信託財産総額	65,234	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（65,102千円）の投資信託財産総額（65,234千円）に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	65,234,750
コール・ローン等	135,661
投資信託受益証券(評価額)	65,099,089
(B) 負債	96,603
未払金	96,603
(C) 純資産総額(A-B)	65,138,147
元本	57,190,877
次期繰越損益金	7,947,270
(D) 受益権総口数	57,190,877口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,390円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は56,344,366円、期中一部解約元本額は153,489円です。

(注) 2018年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・THEO グロース・ファンド（世界の株式中心） 57,190,877円

(注) 1口当たり純資産額は1,1390円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	536,832
受取配当金	536,627
受取利息	205
(B) 有価証券売買損益	4,270,148
売買益	5,899,166
売買損	△1,629,018
(C) 保管費用等	△ 295
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,806,685
(E) 追加信託差損益金	3,151,952
(F) 解約差損益金	△ 11,367
(G) 計(D+E+F)	7,947,270
次期繰越損益金(G)	7,947,270

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。